

子宮頸癌手術を受けられる患者さんへ

患者氏名：

さん

主治医名：

担当医名：

受け持ち看護師名：

月日(日時)	／	手術日		／	／	／	～ 日	～ 日	
経過(病日等)	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日	手術後2日	手術後3日	手術後4～6日	手術後7～19日	
達成目標	・苦痛や不安を表現できる。 ・睡眠が十分にとれ、手術に備えることができる。	・手術を受けられる。	・バイタルサインが安定する。 ・傷の痛みが軽減する。 ・異常な出血がない。	・歩行ができる。 ・感染徴候がない。	・感染徴候がない。	・放屁が出る。 ・感染徴候がない。	・排便コントロールができる。 ・感染徴候がない。	・活動範囲内でセルフケア行動が最大限にとれる。 ・清潔保持、性生活、社会復帰について理解できる。 ・自立排尿ができる。	
治療・薬剤 (点滴・内服) リハビリ	・入院までに飲んでいて薬があればお知らせ下さい。 ・15時にマグコロールPを内服してもらいます。 ・医師の指示で寝る前に薬を飲むことがあります。 ・持参薬の内服は(/ の までです。)	・手術前に薬を飲んで頂くことがあります。	・点滴をします。 (翌日の朝まで続けて点滴をします) ・血栓予防の点滴を朝までします。 ・背中に痛み止めの管が入っています。 ・お腹に管が入っています。	・点滴が朝と夕にあります。 ・血栓予防の注射があります。 		・医師の指示があるまで、血栓予防の注射があります。			
処置	・診察(4階病棟の内診室) ・手術部位の除毛	・早朝に洗顔をします。 手術の開始時間は (:) 時頃です。	・血栓を予防するために足に マッサージ器を取り付けます。 ・医師の指示によりヘルニアバンドを装着します。医師の指示があるまで装着します。	・歩く前に足につけている、マッ サージ器を外します。		・背中に入っている痛み止めの 管を抜きます。 ・お腹の管を抜きます。	術後6日目に診察します。(/) 傷の確認を行います。		
検査				血液検査(/) 		血液検査(/) 	血液検査(/) 		
活動 安静度	自由	自由	ベッド上安静 	座れます。歩けます。 (安静解除後初めて歩く時は、看護 師がつきそいます。)	自由				
食事	・普通食 ・治療食 ・手術前日の食事と水分を摂って良い時間 医師の指示で決まります。 絶飲(:)	・食べたり飲んだりしないで 下さい。 絶飲(:)	・食べたり飲んだりしないで 下さい。	朝)腸の動きを看護師が確認後 水が飲めます。 昼)3分粥 夕)3分粥	朝)5分粥 昼)5分粥 夕)5分粥	朝)7分粥 昼)7分粥 夕)7分粥	朝)全粥 昼)全粥 夕)全粥	普通食もしくは治療食 	
清潔	・処置をした後に入浴、洗髪をして下さい。 ・化粧やマニキュアは外して下さい。 ・指輪等の装飾品も外して下さい。	・診察後はシャワーはしないで 下さい。 ・入れ歯、コンタクト、補聴器を外して 下さい。	・陰部を清潔にします。 ・うがいを積極的にします。	・タオルで体を拭きます。	・シャンプーができます。		・術後4日目に、傷口に問題がなく発熱 しなければシャワーできます。 (シャワーに入って良いかは看護師が お伝えします。) 		
排泄	トイレ	トイレ	・尿の管が入っています。				・術後6日目に尿の管を抜きます。 ・4時間に1回、自尿と残尿測定を します。 (医師の指示があるまで実施します。)		
検温	1回(入院時) 	手術前 	頻回 	4回(6時・10時・14時・19時) 				2回(10時・19時) 	
患者様及び ご家族への説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導	・看護師から入院生活の説明を致し ます。 ・手術前オリエンテーション ・主治医による入院治療の説明 ・主治医による手術説明 ・麻酔科医師による麻酔の説明 ・手術室看護師の訪問 ・手術同意書の確認 				・服薬の説明 		・退院指導 		

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

注2 入院期間については現時点で予想される期間です。